

<図・写真>



<材料・製作方法等>

- ・ ウォールポケット（5×6）2枚
※ 横に一週間表示できるように、2枚を組み合わせ使用。
- ・ 曜日カード・日にちカード・行事カード
※ 印刷物をラミネートしたり、スチロール板にはったりしたもの。
日にちカードは、数字が黒、青、赤の3種類を準備し、平日と土日や祝日等の表示ができるようにする。

<ねらい>

- ・ 行事予定に見通しを持ったり、曜日の感覚を身に付けたりすることをねらいとした。

<指導方法・留意点等>

- ・ 前月末や当月始めに、日にちカードや行事カードを入れ替えることで、新しい月が変わることや行事を知ることができる。
- ・ 一週間の曜日が並ぶ中、当日が何曜日かを視覚的にもとらえることができる。
- ・ 月曜日始まりの並びにし、「学校がある日（平日）」と「お休みの日（土日）」をまとまりでとらえやすくしている。
- ・ ビニール製で反射することから、児童生徒が見る位置や角度などにも配慮が必要である。

<指導経過・成果・課題・展望等>

【今年度 S.HN さんへの指導】

曜日や見通しを持てるように導入した。「体育がある日⇒火曜日」「音楽がある日⇒水曜日」といった学習に使用した。

【今年度 K.Y H.D さんへの指導】

朝の会で、曜日の確認のために使用している。曜日の学習になると、大型カレンダーを見たり、手差ししたりし、取り出したカードを「日付・天気ボード」に型はめする活動を行っている。

【過去の指導】

- ① 児童が、曜日カード、日にちカード等を手書きで作る。
- ② 児童が、月が変わるたびに、一般のカレンダーを見ながらカードの入れ替えをし、教師が用意した行事カードも入れる。
- ③ 帰りの会で、翌日の行事予定を確認したり、朝の会で大型カレンダー上で行事予定を確認した後、カードを抜き出し、「今日の学習」にはるなどして活用したりする。



【課題】

- ・ 大型にすることにより、1つ1つのカードが、取り出して使用できる大きさになる点はいいですが、児童生徒の実態によっては全体を見て「カレンダー」と認識することが難しい場合もあると思われる。児童生徒がどのように見て、全体や部分をどのように把握しているのか見極めることに心掛けたい。